

平成30年度活動報告（地域交流事業）

構成団体名 南国市国際交流協会

（事業名） 『つながっタワー』アプリをつかいこなそう！その時に向けて」
第1回講習会

（実施時期）平成30年7月22日(日) 午後2時から4時

（事業の概要）平成23年3月に起きた東日本大震災での被害は、9割以上の犠牲者が津波によるものであった。今後想定される南海トラフ巨大地震でも高い津波が来ると考えられており、高知県南国市では、平成25年度に14基の津波避難タワーが完成している。

この津波発生時に海岸沿いに設置されている携帯電話の基地局に被害が及び、モバイル回線が使用できない状況下でも、津波避難タワーに避難してきた人が各自の携帯情報端末で容易に安否情報を送ることのできるシステム「つながっタワー」が、南国市の協力のもとに高知工業高等専門学校の今井一雅教授の研究室で開発されて既に運用されている。

この「つながっタワー」のアプリを地域住民の皆さんに理解して導入してもらう為の講習会を南国市の後援を得て、自治総合センターの助成金をいただき今年度5回の講習会を開くことになった。最初の講習会は南国市立前浜防災コミュニティセンターで開催された。参加者は36人、講師は高知高専の今井先生、アシスタントとして同じく高専の学生さん二人が協力してくれ、日本語教室で勉強しているミャンマーとインドネシアからの技能実習生も4人参加してくれていた。



平成30年度活動報告（留学生交流事業等）

構成団体名：南国市国際交流協会

（事業名）「日本を知ろう」マイ遊バスで高知探訪

（実施時期）平成30年10月21日（日） 8:30 - 15:30

（事業概要）例年外国人のためのバスツアーを実施しているが、今年度はとさでん交通の高知駅から桂浜まで各観光地に停車する「マイ遊バス」を利用した。参加者は18名で、外国人12名（高知大学と高知高専の留学生および技能実習生）と日本人6名だった。

このツアーの目玉は、各観光地で英語による詳しいガイドあったことと、外国人のバス代は半額の500円と格安だったことである。

高知駅に集合し、各自弁当を購入して9時発のバスに乗車。まずは五台山展望台で下車して展望台から高知市内を眺望した。次の訪問先は竹林寺、宝物館や庭園も鑑賞した。続いて植物園に移り、温室で熱帯の花を鑑賞した後、昼食をとったり、しばし歓談をした。そして最後の訪問地桂浜に行った。坂本龍馬像を見たり像の説明を受けた後浜辺に下りた。龍王岬への道は台風によって壊され通行止めとなっていたので貝殻を拾ったり、波と戯れたりした。

桂浜からは、路線バスに乗りはりまや橋へ。はりまや橋の恋物語を聞いたり、3つある「はりまや橋」を見たりした。最後によさこい交流館で踊りの衣装を着て、スクリーンに映る振付師の指導でよさこい踊りを踊った。

快晴の空のもと、参加者同士が和やかに話をしたり、ガイドでない日本人も積極的に説明したりしていた。ガイドの詳しい説明に、知らないことがいっぱいあったと言う日本人も1人2人ではなかった。

